

医薬品情報業務にAI導入

自然な話し言葉で検索可能に

岡山大病院薬剤部

ついに病院薬剤部での医薬品情報業務に人工知能(AI)を活用する時代が到来した。今年4月から岡山大学病院薬剤部は、国内で初めて医薬品情報業務にAIを導入。病棟担当などの薬剤師は医師や看護師から質問を受けた場合、AI搭載型医薬品情報提供支援ツール「aiPharma」(アイファルマ)を携帯端末やパソコンで操作し、調べたいことを自然な話し言葉で入力すると、その意図をIBMのAI「ワトソン」が読み取り、薬剤部内に蓄積されたQ&

Aデータベースの中から最適な回答が提示されるというものだ。AI活用のノウハウを持つ木村情報技術と共同で仕組みを構築し、音声入力も近く実現する見通しだという。AI時代と言われて久しいが、AIが薬剤師業務にどのような変化をもたらすのか誰もが気になる。今後の展開に注目だ。

同院薬剤部は、医師や看護師、病棟担当薬剤師などから薬品情報室が受けた薬に関する質問とその回答8000件以上をデータベー

スに保存し、医薬品情報室の専従薬剤師や病棟担当薬剤師は医薬品情報業務にこのデータベースを活用してきた。

過去のQ&Aを参照したい場合、これまでのシステムでは複数の単語をスペースで区切って入力して検索する必要があったが、AIを搭載した新システムでは自然な話し言葉をそのまま入力すれば検索できるようになった。

ワトソンには、自然言語を認識し、曖昧な問いかけや文章のゆらぎを判別して意図を読み取る能力があり、例えば「メインでヴィーンDとプリンペランいってるけど、側管からパズクロスいっていい？」と質問されたままの表現を入力して検索した場合、「配合変化」というキーワードがなくとも、これら注射薬の配合変化につ

いて聞かれているとワトソンは判断し、Q&Aデータベースの中から最適な回答を探し出して提示するという。

病棟担当薬剤師は全員、携帯端末のiPadを持っており、病棟で医師や看護師から質問を受け、すぐに回答が欲しい場合は「aiPharma」をiPad上で操作し、最適な回答を引き出すことができるという。

今後は、さらなる機能向上にも取り組んでいく予定だ。今秋頃には音声入力が実現する見通しで、病棟で質問を受けた場合、携帯端末に向かってその質問を音声で復唱するとすぐに最適な回答を得られるように、システム改良を進めるということで、今後の進化が楽しみだ。

医療用薬の販促に指針案

企業に監視部門設置求める

MRの不適切な活動に歯止め

厚生労働省

高血圧治療薬の臨床研究データ改ざんが社会問題となったディオバン事件や製薬企業のMRによる不適切なプロモーションが後を絶たないことから、ついに国が是正に乗り出した。厚生労働省は、「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」案をまとめ、製薬企業が販促活動に用いる資材や活動自体の適切性を監視する部門を社内に新設することを要求したほか、MRなど情報提供担当者には誤解を招く恐れのある活動を禁じた。さらに、製薬企業に対して本来の

責務という原点を判断基軸に自らを厳しく律した活動を求めるなど踏み込んだ内容となっており、これまでなかなか歯止めがかからなかったMRの不適切なプロモーション活動は大きな転換期を迎えそうだ。

現段階でガイドラインは案となっており、今後意見募集を経て正式に通知され、営業部門と切り離された部署にかかわらず、製薬企業の社員全てに適用される。ガイドライン案では、プロモーション活動の原則として、医療用薬の有効性のみならず、副作用を含む安全性についても情報提供するな

ど、必要な情報を提供し、その情報を恣意的に選択しないことを定めている。

提供する情報は、科学的根拠に基づくものを求め、不適切使用や誤使用を誘発しないよう虚偽・誇大、誤認を誘発させる表現を使わないよう明記。他社製品を誹謗・中傷することで自社製品を優れたものと訴えることなども禁じた。

その上で、製薬企業の責務として、経営陣があらゆるプロモーション活動の責任を負うことを強調。自社が適切にプロモーション活動を行っていることを確認するため、資材や活動をモニタリングする販売情報提供活動監督部門を社内に設置し、責任者を明確化するよう求めている。また、プロモーション活動の担当者に必要な監督指導をできる権限を与える一方、経営陣にも必要な管理指導を

行うよう促した。

一方、MRなどプロモーション活動の担当者の責務としては、審査で適切と認められた資材に沿って、正確で科学的・客観的な根拠に基づく活動を行わなければならないと強調。意図的であるかにかかわらず、誤解を招く恐れのある活動を行わないよう求めると共に、例外的なデータを一般的な事実であるかのように表現しないこと、不適切使用・誤使用を誘発する恐れがある表現を用いないよう細心の注意を払うべきとしている。

さらに、ガイドラインに定められていないことであれば自由に行ってもよいとの誤った認識を持つことなく、製薬企業に求められる本来の責務という原点を判断基軸とし、自らを厳しく律した上でプロモーション活動を行うよう詳細な行動まで踏み込んだ。

薬剤師に特化した就職サポートサイト「メディキャリ」リニューアルオープン!!



「メディキャリ」は、新卒求人情報やインターンシップ情報などを含めた就職サポートサイトです。

来春、中途採用サイトもオープン!

インターンシップサイトにて東京大学客員教授澤田先生のスペシャルコラム公開中!!

薬学生のキャリア支援サイト **メディキャリ**

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1-9梅田ゲートタワー11F (メディセレ内) TEL: 06-6371-6123

